

第四班

綱川歩美
鈴木愛
加藤純子

評価基準から「大名評判記」を考える

研究視角について

『土芥寇讎記』を「大名評判記」と提起したのは、金井圓氏であるが〔1〕、「評判記」という分類から考えてみたい。近世文学の世界で「評判記」というとき、出版産業の力を借りた一種の情報誌として、なによりもその当代性が注目される〔2〕。現存する最古の「評判記」は明暦元年の「遊女評判記」『桃源集』といわれている。それは「評判」価値の真贋は別としても、実際の個人にあてえられた紛れもない評価であって、その意味で現実社会における当時の文化価値を表現するものである。つまりは、時代の文化精神の反映を見ることが可能なのである。

この論理を我々が扱う「大名評判記」において考えてみると、少なからず問題を生じてくる。まず、第一に、出版メディアの販路にのぼらないという点である。『土芥寇讎記』をはじめとする「大名評判記」はすべて写本で伝わっており、出版された形跡はない。さらには、秘書として扱われた形跡すら感じられるという。このことから、一般の「評判記」のジャンルが持ちえた、出版による流布と情報性という視角には限定的にならざるを得ない。

第二には、上記のことと関連して、評価が当時の価値を十分に反

映しているのかという問題である。つまり、評者が下す是非かの判断が、はたしてどれほど妥当性をもって評判される側や（いるとすれば）想定された読者に認められていたかということである。この点でも、「評判」の中身がそのまま時代の表現とみることに制限が加えられよう。

しかし、それでも「大名評判記」は特定の個人を名指して掲げており、それぞれの時代に存在した実在の大名であることには変わりがない。彼らは、特定の個人として認識され評者の価値基準によって優劣がつけられているのである。「大名評判記」という書物のなかに、評者側（個人か集団か不明だが）の価値基準と、大名の実像が交錯し、ひとつの「評判」空間が存在することは間違いない。付け加えるならば、受容の範囲は不明であるが、それが書物として世に放たれたということも言える。近世文学のジャンルとしての「評判記」と距離をおきながらも、ことに受容的側面を考えるにあたってはモデルとして念頭に置く必要がある。

近世一般の「評判記」と単純に比較できない理由は、やはり「大名評判記」が多くの謎を抱えている点にある。秘書的な匂いというものもあるが、作者も評文を備えた形での完全な成立も不明であるということである。これは書物としての決定的な要件を書いている。そうした中、謎めいた書物が我々に提示するヒントはやはり、その評文であろう。

評文は、普通に考えれば、評者の価値観に基づいて作られているはずである。そして先述のように、評価する側とされる側という関係のもとに構成され、意味をなしていた。ならば、評文がなにを評価し、そこにどのような含意があるのかという点にまず着目すべきであろう。評価の基準、こめられた意思を浮かび上がらせることで、大名に向けられた視角、その受け止められ方など考察の範囲を広げることが出来る。このような目論見から、「大名評判記」の評価基準へ注視したい。

今回の作業について

さて一昨年の共同研究を経て、我々は新たな「大名評判記」を獲得した。かつて金井氏が指摘した『武家諫懲記』の他に、『諫懲記後正』と『武家勸忍記』である。これら新史料の発見は、影響関係はおくとしても、『土芥寇讎記』が単独で存在したのではなく、同類の書物が点在していたことを示している。

それらの年代を並べていくと、『諫懲記後正』が最も遅く元禄一四年、『土芥寇讎記』が元禄三年位、『武家諫懲記』が延宝三年、そして『武家勸忍記』がそれ以前ということになる。『土芥寇讎記』を間に挟む形で複数の「大名評判記」が成立していることが分かる。『土芥寇讎記』という最終課題に対して、周辺史料も含めて扱う必要がある。

そこで今年度の課題は、新たな「大名評判記」の評価基準を詳細に検討することで、『土芥寇讎記』のデータの比較材料を作成することを第一に取り上げた。まず、『諫懲記後正』の評文を中心に頻繁に使用されている語句を拾い、前後の文章を抜き出した。「主将ノ法」をはじめとして九つの語句がどのような意味で使用されているか、またそれぞれの語句は相互にどのように関連づけられているかをみるためである。なお、担当箇所は、第一巻から第十二巻が綱川、第十三巻から第十八巻が加藤、第十九巻から第三十巻が鈴木である。

そして、最も遅い時期の『諫懲記後正』の評価基準を手がかりに、先行する「大名評判記」や武家家訓などの別の史料との比較検討をそれぞれが行った。ひとつは、ほぼ同じタイトルを持つ『武家諫懲記』と『諫懲記後正』との比較（鈴木）である。また、最も早いと思われる『武家勸忍記』の時代確定と、評文の内容の考察をおこなった（綱川）。さらに、武家家訓という別種の史料との比較検討である（加藤）。いずれも評価基準の内容という点を前提にしている。鈴木は時代を異にする基準を考察することで、「大名評判記」に展開される空間の変遷を考える試みをおこなった。また綱川は、一連の「大

名評判記」の基点を念頭に、時代性との関わりを考察した。加藤は、評価される大名側から限定的ではあるが、同時代の大名規範との比較を試みた。

今回の共同研究では、島のように点在する複数の「大名評判記」を評価基準によって比較・考察したものである。依然、試みの状態ではあるが、最終的な目的は『土芥寇讎記』につながるものであると考えている。

（文責・綱川歩美）

【注】

- (1) 『土芥寇讎記』新人物往来社、一九六七年、解説。
- (2) 中野三敏『江戸名物評判記』岩波書店、一九九三年。

NO	巻号	大名名	1 主稱ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智
1	1巻	尾張中納言源言通		文武 (成長に及んて)文武両道ヲ學ビ			生得 心意発明ニシテ利根	行跡 行跡正シク所行セリハ必又後世ニ及ビ良将ノ譽			
2	1巻	祖父光友 父綱龍 紀伊中納言綱教		文武ノ學ビキトイヘトモ 文武ノ學ビテハストイエトモ 文武ヲ學ビ給ハストイエトモ			天性淳直 生得小氣 和順ニシテ政道非業ヲウケ	寛然トシテ威儀備リ 小直行跡ナリ 行跡寛然トシテ柔和ナリ			
3	1巻	甲府中納言源綱豊		文武ヲ學ビ給ハス 文武ノ學ビテハキヲ不 可ト云フ	名得ハ文武ヲ以テ心意ヲ 正シ其身ヲ修メ家ヲ齊ヘ 國ヲ保ツ		生得短慮ニシテ剛勇ヲ好 ミ給フハ文理ニ不通故也 心意所行不直ニシテ柔 弱成レ何ノ益カ有ツ**	行跡悪義ナク政道直シ	**		
4	1巻	父綱重 水戸宰相綱條		文武ノ心掛少々アリト成 ハ無ニシカシ			自然ト権威備リ剛勇有テ 物毎好悪ノ意地ナク 利根発明通タルハ却テ 身ノ害トナレリ	行跡悠然トシテ聰明叡智 ノ御器豊タリ 悪義ナク政道直ク國家穩順ニシテ和行セラル			
5	1巻	加賀宰相言原綱紀		文武二道ニ違シ仁礼兼 智ニ通シ不修不忿不貪 信慮ヲ通シ和順ヲ兼家 民ノ愛稱匹夫マテニ及 ボサルハ事*			武法ヲ備ミ弓馬ヲ全ク家 士ヲ勵メサレ智勇ノ稱タ リトイヘトモ	自身ノ所行國家ノ作法 等類カ察業当然ノ理最 モ善ナリ			
6	2巻	松平薩摩守源綱貴		且文武道少々志シアリ	太守國主ノ身トシテ文武 ノ心懸ナキハ一輪一翼ニ テ飛行セシト欲スルニ等 シク片道ナリ (攝武の治世も)武ヲ三專 ニシテ治メラルヘニハ非 ズ、文武ノ至達ナルニ依 テ古守治國安民ノ範範ト スル所ナリ		生得淳然	行跡和順			
7	2巻	松平陸奥守藤原綱村		主稱ノ法ト云フハ文武 二道ニ違シ武勇ヲ勵シ 仁義礼智信ノ五ツヲ備 メテ行跡不達國家ヲ治 ムハ保護セラルヲ以テ本 トス			心意セハシキト云フ、是 ハ天性ナルニヤ、然レト モ悪義ナキヲ以テ善トス	主稱ハ大權ニシテ寛ク行跡正シク豪傑ヲ勵シ仁 政ヲ専ラニセズハ不可有			
8	2巻	細川越中守源綱利		文武ノ學ビキトイヘトモ 自然ト得レ器量備リ 来テ徳行正シキガ故國 家安泰ナリ*	文武ノ心懸ナキキヲ不足 トセシカ、學ビテ事物之通 理ヲ究メ行則シハハツト シテ誤リ有テ不可、不學則 シハ理ニ到リ難シ、然レ ハ不義ノ所行モ有テ ヤ、去トモ學ビテ不達ナ ル人、不學ニシテ善行ノ人 ナリ***		生得短慮利根発明通タリ トナレハ所行ニ於テ少々 寛柔ナキト云リ*	利根発明通タル故其理ニ 迷フ	***	**德行正シキガ故國家 安泰ナリ	

NO	番号	大名名	1 主稱ノ法	2 文武	3 文	4 兵	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 子習
10	2巻	松平肥前守源綱政	國家ヲ治ルハ文武ノ二通學ヒナクテハ政法寛東ナシト云ヘリ	文武ヲ心掛			生得發明ニシテ孝敬ヲ専ラニシテ家國ノ政道順路ナリ	行跡正シク家民ヲ憐ム事疎カチラス、忠義ヲ旨トシテ公勤ヲ不怠	所行聊カ不義ナシ		
11	2巻	松平安芸守綱長	武法ヲ好ミ而モ心意淳直ニシテ國家ノ政道正シク其理力ニ不惑不善不貪仁義ヲ齋ヘ匹夫トシテ心身慎ミ行跡正シキ事主將ノ本意ナリ	文武両道ハ軍ノ而輪亦ハ鳥ノ双羽ノ如ク成ハル一方ニ交リ心ニ不任シテ其理不能			幼年ヨリ發明ニシテ其精鋭異常ナリ	行跡正シク國家安泰ニ政道ヲ執行ハルヘニ依テ*	* 心意所行ヲ記又ニ凡人主タルノ様、心意明ラカニ道ヲ正シ、其理ヲ密ニ流水ノ少モ不流カ加ク心得可有		
12	3巻	松平大膳大夫大江吉広	天下ノ御作法如出國朝ヲ治メ保シ人御政道ヲ不守テ、已ニ其身ニ短行ル所ノ大様何ノ故ノ	文道武道ノ學ヒ有ト云ニハ非ヌ			生得淳然トシテ非義ナク、家國ノ政法宜ク、物事大様ニテ家民ヲ哀憐アリ*		* 所行宜シトナリ		子習發明ニ非ヌ
13	3巻	松平信濃守藤原綱茂		文武ノ學ヒナク			生得剛勇*	唯一分ノ行跡氣度有トモ家國ノ妨ケニ不成時ハ、是書レノ得トモ云ツヘシ	* 所行ニ付テ實事ナシ去共不不貪トナリ		
14	3巻	松平伊予守源綱政		文武ノハ學ハサレ共**			私欲ナク不貪好義ノ意ナシ。總理ヲ正シ淳直ナリ	** 行跡大様ニ諸事大度ニシテ兼テ礼事ナシ世間ノ動メ不怠法ヲ守リ、或ハ歌ノ道ヲ嗜ミ行跡靜ニ禮節ヲ旨トセラル			
15	3巻	松平右衛門督源吉明		文武ヲ不學			心意發明ニシテ家民ニ愛重アリ。(伝)	若年ナレハ行跡善惡ノ差別不知			
		應吉綱清		柔弱ナル故物事ノ理ニ不叶シトナシ、畢竟文武二道ニ疎カ故ナリ			心意淳直ナレハ指子好義ナルニ非ヌ				

NO	番号	大名名	1 主稱ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 體	9 才智
16	3巻	井伊兵助藤原直通		文武ヲ少々心懸		武法ヲ好ミ***	生得寛悠ニシテ**	行跡正シク尤礼義ヲ厚ク家民ニ愛護有テ国家ノ政 道斷カ不義ヲク慈惠ヲ専ラニシテ家士ノ位置理ヲ究 メ所行善ナリ	* 其身利根究明ナリトモ 行跡不義ノ所行ニ於テ ハ八國家ノ愛トナシ	武勇ノ旨トシ忠貞ヲ勵シ 禮儀備世間ノ標榜ヲ儼ニ 多ク勤候***	** 才智發明ナリ
		父直置					生得淳直ニシテ義理ニ通 達セル故自然ト所行善ナ リシ*****		*****	*****	
		直置妻父		文武ヲ好ミ而モ*****			悠然トシテ*	* 行跡正シク**		** 其威備リ	
17	4巻	藤堂和衷守藤原高久			文理ヲ不學ニト不足ト云シ						
		祖父高虎									
18	4巻	松平兵部太輔源昌明		文武ヲ好ミ文武ヲ學ビ其 理ニ達セルルハ故ナラシ 文武ノ學ビテナク		武勇剛強ニ募リ世ニ武功 ヲ顯ス 武法ヲ嗜ミ 馬ヲ數寄家士ヲ勵シ	心意淳直ニシテ 生得堅正ナリ	行跡善ナル	所行重シク公勤ヲ不怠	仁義發明ニシテ	
19	4巻	松平肥後守源正信						家民ノ困勞ヲ察シ是ヲ救ヒ忠節ヲ旨トシ勤候。事ニ 行跡道ニ叶ヒ國家ノ任直等正順		智勇有テ非義ヲ不行	
		父正之		文武兩道ニ達シテ大學士ト シテ礼法ヲ正シ國家ノ政 道順ナリ							
		兄正経									
		寛然トシテ行跡不義ナ ク威徳不絶トナレハ君 子ノ法ニ叶リ。									
20	4巻	松平土佐守藤原豊房						行跡不義則シハ後々善シ モ可有			
		養父豊昌					心意行跡共ニ正シク*	*			
		凡國主トシテ文通ノ悉シ ナキハ不臣ノ一也 仁愛ヲ専ニシ武歌ヲ好 ムルハ事尤可ナリ									
		文通ヲ不學武勇ヲ好ミ									
21	4巻	松平淡路守源綱矩						行跡寛大トシテ和順ナリ			
		養父綱通		文武ヲ學ハルシ沙汰ナク							
		父光隆									
		仁政ノ稱									
		凡國主領主タルハ學フヘ キハ文通ナリ。武法ヲ好 ム事家業ナレハ可ナリ。									
		政道重シク家士長閑ヲ 憐ニ所行不義ナラシ不 ハ難スルニ不致									
		天性善徳ヲ備ヘ仁義ヲ厚 ク忠信ヲ以テ旨トシ國家ノ 法令重クシ其任直キヒシ シト書久。後ニ京儀有テ記 セリ。彼皇ヲ奉ルル則シハ 畢竟此等ノ將智勇ノ良器 共云フ。									

NO	番号	大姓名	1 主得ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智
22	4巻	佐竹右京大夫源義規	凡國郡ヲ治ル人ノ心得先其心ヲ正シ其意ヲ誠ニシテ行跡ヲ權ニスシテハ仕置立ヘカラス。				生得 生得徳ニ通達シテ執行ハルハ故家民自ラ無為ナリ	行跡			
23	4巻	有馬中務太輔源頼元	行跡正シク仁義ヲ旨トシ好意ノ氣味ヲ能道ヲ守リ、徳具器ニ當リ天性主得ノ法ニ叶フ								才智発明ニシテ*
24	5巻	松平出羽守源頼近		* 文武ヲ學ビテ子理ヲ弁ヘ宜武法ヲ嗜スルハ故力							不忿不奢、家民ヲ撫育シ義ヲ正シテハ事、是智仁勇共ニ備ル民得ナルヘシ
25	5巻	上松平正大弼藤原綱憲	*	文武ヲ學ビ		武法ヲ好ミ	生得 仁礼ノ徳操ヲ旨トセラレハ其心憲憲ナク行跡宜シトナレハ是人主ノ徳操リ善行ノ良符アリ*				*
26	5巻	本多中務大輔藤原政武	今以テ不道國家ノ仕置總靜ニシテ哀憐セラルトナレハ君子ノ道ニ叶ヘシ				** 發明ニシテ其相形和順ニ見ヘ心意淨直ナリ				
27	5巻	小笠原右近將監源忠雄	主人トシテ文武ヲ學ビ武法ヲ好ミ仁礼厚ク生得寛直ニシテ弓馬ヲ勵シ家長ヲ憐ミ國家ノ任置非難ナシトナレハ是將威備ルノ所本意ナルヘシ。*								
28	5巻	松平大和守源基知	國郡ヲ治ル人ハ其心身ヲ正シ、次ニ國家ヲ治ムル則シハ齋シカラスト云フ事ナシ	文武共ニ學ハレ			生得 生得實然トシテ生得敬實ナルニヤ、愚昧ナリト云ヘ共美ニ愚昧ニアラス、和直ニシテ礼義ヲ專トシ折詰タル生付テハ愚鈍ニモミユルナラン。然シ廉利相ナルヨリ結句増ナラシカ	行跡 宣シク法ヲ守リ家民ヲ撫養セラルヘ事*			勇知發明ニ
29	5巻	松平越前守源定直		心行正シク文武ノ志アリ							
30	5巻	榊原式部太輔源勝兼	父定時 祖父定房				少々不義ニテ行跡サシミ正シキニハテラサリシ				仁義正シク知慮アル将ナ
		曾祖父忠次	人主トシテ文武ニ心懸ケル事、是主得タルノ本然也。且心意行跡正シク家國ノ政道臣等ニ談シ執行ハルルトナレハ事物主得ノ法ニ叶ヘリ	文武ノ道ニ連シ			生得和順ニシテ	行跡 正シク仁義ヲ專ラシテ公罰ヲ不怠、家士民間ヲ撫養ム事疎カラス			

NO	巻号	大名名	1 主得ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智
31	6巻	酒井左衛門尉源忠真			文 文道ヲ不学武法ヲ少々志入事、是文道ヲ不学ハ不 是ノ第一ナリ。武法ハ元来家業当然ナレハ尤可ナリ		生得 * 生得淳直ナレハ別而難 スヘキ所行ナシ *	行跡 毛頭非義ナク行跡穏和ニ シテ *	所行 * * /人トシテ善悪ヲ不 知ト云フ事ナシ。是本心 慈ニ長シ。我外意ニ誇リ テハ柔心ヲ乱シ、所行直 シカラサルモノナリ		
32	6巻	酒井雅楽頭源忠孝		文武 文武ニツシ心ヲ尽サルハ 事ニ父忠清ニハ勝シタ リ。					(修身・忠節・威儀・操 節)何レモ所行難スル 事ナシ		
33	6巻	酒井朝貞佐藤忠固	父忠清 (輔)天下ノ難人ハ大 方ニテハ難叶最モ文道 武法ヲ学ビ心ニ智勇ヲ 含ミ行跡正シク礼儀忠 節ノ志ヲ有シトナレハ 其理ヲ弁ヘラルハ故、 審リ念ルル念ナカリト見 ヘタリ	文武 文武而道ヲ学ビ智勇有テ 行跡正シク不意不奮礼節 厚シ *	文ハ仁義礼智信ノ五ツナ リ 主得ハ到文理志シ亦武 備ヲモ不意武運々二人ヲ 兼学セラルヲ社長得共云 ツヘシ	武 武毛亦此之以五事道天 地得法ヲ悉ル	生得 寛剛ト有ハ是モ得タ ル人ノ道ナリ	行跡 不義ナク家士民間ヲ愛憐セラシ シ			
34	6巻	松平讃岐守源頼常	主得タル人文武二疎キ 則シハ国家ノ故事不足 アルヘキカ				天性 発明ニシテ心意正シ ク *	行跡 寛大ト大徳ナレハ 勲章セハシキニ非ス。得 意續リタル			
35	6巻	松平越中守源重直		文武 文武而道ヲ兼用ニサレ則 シハ心又所行ニ通不致可 有。是一偏ノ意氣ヲ達ス ルニ依テナリ	和歌ヲ吟スル事義家公家 方ノ業ニシテ武士ハサツミ 不好共 *	武 武勇ヲ好ミ弓馬ヲ難ム事 是武門ノ要領タルハ最モ 可ナリ	生得 発明ニシテ *	行跡 百シク公勤ヲ旨トシ家士民間ニ愛憐セテ功レ敗 道臣等二任セ所行不義ナキトナレハ難スル事ナシ			得ノ 得ヲ蒙リテ子孫ニ傳 テ兼備タルヲ以テ其役ヲ 守ラベシ。法ハ軍法曲制 ヲ云フ。
36	6巻	立花飛騨守藤原宗尚	文武ノ学ビ心懸有テ子 レハ是主得ノ法ニ叶ヘ リ					行跡 善カニシテ身ニ實ミテ。殊ニ仁義ヲ志シ家 士民間難カニシ *			
37	6巻	大久保豊成守藤原忠増	沿テモ乱ヲ不忘ハ武士 ノ法様ナレハ不意シテ 備ヘ全キヲ得ノ嗜トス ル所ナリ	文武ノ二道ハ不忌トイ ヘ共行跡非義ナク家國 ノ政道直ク仁愛ヲ施サ ル事主得ノ法ニ叶フ			* 生得 淳直トナレハ難ス ルニ事有テシ	行跡 正シテ *			
38	7巻	松平大藏太輔音原利久	主得トシテハ文武ヲ学 ビ国家ヲ正シ行跡ヲ專 ラ嗜ミ善道ニ到ル事ヲ 然リ	文武而道ヲ志スヘトモ 其理ヲ究ムルニ非ス			* 生得 淳直タリ。尤陸奥 叛曲ヲ去リ且仁礼ヲ旨ト シ身ニ積ミ多ク、政道順 ナル故天下ノ執事トナツ ル	行跡 正シテ *	所行 直シク自然ニ善シク 得ラルヘモノ也		
39	7巻	稲葉丹後守越智正通	(評)文武神道ヲ学ヘ ルハ事人主トシテハ志 サスヘキ法也	主得ノ文武ヲ学フ事尤モ 善也			生得 寛然トシテ仁礼正シ ク不意不負国家ノ政道順 路ニシテ守護セラレ *	* 不義ノ行跡ヲ思慮有テ動候旨トセラレハトナレ ハ所行難スヘキ様ナシ			
40	7巻	本多能登守藤原忠常			守得トシテ文学ヲ不好事 不足タリ	去共武運ニ運シ行跡不 義ナク禮節ニシテ国家ノ 仕置正業ニシテ世間ノ勲ヲ 不意トナレハ家業忠孝共 備ルル人カ *					

NO	巻号	大名名	1 主理ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智	
		藤父光祿宗利	武ノ道ヲ敬セラルハ故 二心ノ精リ者子行跡ニ 不備ナシ。去共文理ニ 精キニ依テ智仁ノ爲メ ヲサレハ眞実ノ法ニ 叶	文武	文 文道ヲ不學武勇ヲ嗜、香 ノキチシ有ル*	武 武ト云フモ道天地將法ノ 五常ヲ立テ子孫傳テ 道ヲ正シ身ヲ修ルノ道也	生得 生得	行跡 * 去共行跡不備ナリ簡潔有テ簡便ノ出合モ不備ナ シ				
30	8巻	松平実業守源吉保	人主ノ法ハ文武二道ニ 違フ行跡正シク行テ ラルヲ以テ主理ノ法ト シヤ	人三ヨリ文道ヲ學ブト云テ 眞実ノ理ニ不至只文字ノ 句語記誦詞章記之目此 道ノミカヘリ家業破クシ テ武道ノ沙汰ナク外見ニ 顯ハルハ縁モ有、或文武 二道ニ至違フ是ヲ内舎ミ 外ニ不顯モナリ								
51	8巻	松平下総守源忠雅	文武ノ學キハ不足ナ リ共未タ若キナレハ 後々兼學ニ於テ行跡正 シクニ成ラズ所行直 シキ則シハ良得ノ善シ モ可有ナリ*	文武ノ道ヲ不學			生得 生得穩厚ニシテ法義ヲ不 背家民ノ仕置正順ナリ	行跡 * 行跡和平ヲ旨トシ聊カ非道ヲ現セズ				
52	8巻	豊平能本親平昌春 亡父昌章		文武ノ學ヒナク			生得 生得發明ニシテ	行跡 天性柔和ニシテ不忿國家ノ仕置穩健ナクテ平赤子ニ固ニ據テ 儀ハ和力通テ誓トナル是婦人仁也	所行 所行不備トイヘ共(色欲 に溺れる)			
		祖父忠昌		文武ヲ不學トイヘ共								
		昌能			行跡 行跡先無文武只心ノ勇 重剛強ナル備氣ヲ以テ勇 力運潤ノ機ナク							
53	8巻	土屋相模守源政直					少々短慮ノ氣味アリト記 ス事サノミ應養ナシ	行跡 行跡ハ強ニ過テ子孫トナル 血氣ノ勇ニテ主理ノ本意 ナラス				
		父教直		文武而道ヲ不學			生得 生得厚直ニシ心ニ敬ス ルニ任セ置テ子孫トナ シト也。去共後密ニ非ス。 心氣冥儀タル故也		行跡 行跡並風塵動ヲ棄テ子 孫傳ノ念ナシ。老年外 トモ出仕ヲ不苦			
54	8巻	松平飛騨守源利重					理非發明タルニ依テ、家 司國ニ任置ラテス故強國 家趨カナリ					
		父利明		文武而道ヲ學ヒ義理ヲ專 ラニシテ*								
		戸田能登守藤原忠真		文武ヲ學ヒ*								
55	9巻	亡父忠昌										
		國郡ヲ治ル主理外共 諸道ニ兼テ、理ヲ明カ ニシテ家民ヲ導カスハ ハ政道正ナルベシ、况 ヤ天下ノ執權ニ於テ大 方ニテハ不可		文武ヲ學ヒ*								

NO	巻号	大人名	1 主得ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智
56	9巻	依野駿河守源忠辰	主得トシテ文武ノ道ヲ志シ有ル事義モ人主ノ法ニ叶ヘリ 生得義明ニシテ和順ヲ以テ行跡正シク、仁義ヲ厚シ、家民ニ哀憐シ、忠孝ヲ旨トシ義主世間ノ勤メ宜シキナレハ主得ノ本意ナリ	行跡宜シク法ヲ守リ家民ヲ撫養セラルル事文武ヲ学ブテ理ヲ弁ヘ*	文	武 * 且武法ヲ嗜ミ家業ヲ勵シ備ヘ全キハ先祖ノ功名ヲ繼グトシ志ナルヘシ	生得 其生し和根義明	行跡 行跡和順ニシテ所行不義ナク家民ヲ憐ミ政道宜キ然し其行跡種々ニシテ国家ノ政道順路ニテ勤候ヲ専ラニシ、貧リノ意地ナシ	所行	徳	才智
57	9巻	中川因幡守源久通	一城ノ主トシテ文武道ヲ不学事不足トス*	文武ヲ嗜ム事ナシ*	文道ニ達シ	武法ヲ學ビ弓馬ヲ嗜ミ、家士ヲ勵シテ哀憐セラル*	其生し和根義明	行跡 行跡和順ニシテ所行不義ナク家民ヲ憐ミ政道宜キ然し其行跡種々ニシテ国家ノ政道順路ニテ勤候ヲ専ラニシ、貧リノ意地ナシ	所行	徳	才智
58	9巻	松平伊豆守源信輝	主得トシテ文武ノ道ヲ不学事、是行跡不達ノ本也。且生得義明ニシテ心慮淨ナリ。尤モ仁義正シク哀憐ヲ家士ニ施シ、国家ノ仕置種々順ニテ勤候ヲ専ラニシ、諸侯ノ出合不怠トナレハ、難スヘキ様ナシ。			武備ヲ嗜ミ、朝暮急ル事ナク勇徹ノ将ナリ	其生し和根義明	行跡 行跡正シク、身ヲ慎ミ忠孝ヲ旨トセラル	所行	徳	才智
59	9巻	土井周防守源利益	文武ノ道ヲ不学トナレハ、勇義是血氣ノ勇ナリ、匹夫ノ勇トシ人主ノ本意トセサル所ナリ			弓馬ノ嗜ミ有る事、武明ノ要トナレハ心懸ラルヘハ嚴重ナリ	其生し和根義明	行跡 * 去其邪曲保徳ナク、行跡不義ナキ	所行	徳	才智
60	9巻	水野準人正源忠直	人主ハ只文武面道ヲ業備ヘ聖賢ノ地意ニ至ラズレハ、国家治ル不可			武法ヲ好ミ勇氣有る事、家業当然*	其生し和根義明	行跡 * 去其邪曲保徳ナク、行跡不義ナキ	所行	徳	才智
61	9巻	内藤能登守藤原義孝	文武ヲ少々学ハル事可也			武法ヲ嗜ミ、仁礼重ク*	其生し和根義明	行跡 * 去其邪曲保徳ナク、行跡不義ナキ	所行	徳	才智
62	9巻	鍋島紀伊守藤原正義	主人トシテ文武ノ心懸有る事、尤モ善也。	文武ノ法ヲ少々学ヒ歌道ノ嗜ミ有ツカ、		勿論武法ヲ嗜家士ニ様ニ有テ*	其生し和根義明	行跡 * 去其邪曲保徳ナク、行跡不義ナキ	所行	徳	才智
63	10巻	牧野備前守源成春	礼法ヲ不習、和順ヲ旨トシ家民ニ哀憐ヲ施シレハ、公勤ヲ勵シ物事慎ミ有テ、天性主得ノ法ニ叶ヘリ	文武ノ学ヒ嘗テ無之トイヘ共*			其生し和根義明	行跡 * 去其邪曲保徳ナク、行跡不義ナキ	所行	徳	才智

NO	番号	大名名	1 主将ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智
64	10巻	戸澤上総介平政係	主将トシテ万民ノ上ニ座シテ国家ヲ治メ導クヲ以テ不行則シハ剛仁難シ。然レハ文武ヲ崇ヒテ聖教聖戒ヲ明カニセテ又シテハ、善行ニ至ル事叶フ不可。	文武ノ学ニチキ事不足ノ第一ト又*	文	武	武ヲ好ミ、智勇有テ、生得純明也。	行跡	所行	徳	才智
65	10巻	安藤長門守源重興		文武ノ学ニチキ事不足ノ第一ト又*	文	武	武ヲ好ミ、智勇有テ、生得純明也。	行跡	所行	徳	才智
66	10巻	松浦香崎守源任	智ハ文武ノ本然、勇ハ武ノ威儀ナレハ、凡主将トシテ此両道ヲ兼備セズハ不可有。是ヲ以テ一方欠テハ叶ハレ難シト云リ	文武ノ学ニチキ事不足ノ第一ト又*	文	武	武ヲ好ミ、智勇有テ、生得純明也。	行跡	所行	徳	才智
67	10巻	松平石京大夫源輝貞	文武ノ学ニチキ事不足ノ第一ト又*	文武ノ学ニチキ事不足ノ第一ト又*	文	武	武ヲ好ミ、智勇有テ、生得純明也。	行跡	所行	徳	才智
68	10巻	松平主殿源忠雄	文武ノ学ニチキ事不足ノ第一ト又*	文武ノ学ニチキ事不足ノ第一ト又*	文	武	武ヲ好ミ、智勇有テ、生得純明也。	行跡	所行	徳	才智
69	10巻	相馬図書頭平叙胤	文武ノ学ニチキ事不足ノ第一ト又*	文武ノ学ニチキ事不足ノ第一ト又*	文	武	武ヲ好ミ、智勇有テ、生得純明也。	行跡	所行	徳	才智
70	10巻	石川主殿源源憲之	文武ノ学ニチキ事不足ノ第一ト又*	文武ノ学ニチキ事不足ノ第一ト又*	文	武	武ヲ好ミ、智勇有テ、生得純明也。	行跡	所行	徳	才智
71	11巻	松平若狭守源直明	文武ノ学ニチキ事不足ノ第一ト又*	文武ノ学ニチキ事不足ノ第一ト又*	文	武	武ヲ好ミ、智勇有テ、生得純明也。	行跡	所行	徳	才智

NO	番号	大名名	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		父直良	文武	文武	文武	文武	文武	文武	文武	文武	文武
72	11巻	松平丹波守藤原光永		文武ノ道ヲ不学ト書ス云 井、本文ノ通り行跡法ニ 叶フ則シノ不学ハ云ヒ 難シ*	道ヲ行ヒ理ニ不達ハ不学 ノ道者トモ云ツヘシ。	殊ニ勇法ヲ旨トシ武業ヲ 馬ヲ嗜ムル事家業当 然亦、善也。	*但シ天性仁義相備ハル ル者ナラバ、最モ善クナリテ 吉トス	非 忠義ヲ旨トシ、或參勤交替ノ時ヲモ不達、或日ノ私 節ヲモ能動メ唯一分ノ氣遣ハシ是非二不 及			
73	11巻	本多隠岐守藤原		文武ノ道ヲ不学ト書ス云 井、本文ノ通り行跡法ニ 叶フ則シノ不学ハ云ヒ 難シ*	道ヲ行ヒ理ニ不達ハ不学 ノ道者トモ云ツヘシ。	殊ニ勇法ヲ旨トシ武業ヲ 馬ヲ嗜ムル事家業当 然亦、善也。	*但シ天性仁義相備ハル ル者ナラバ、最モ善クナリテ 吉トス	非 忠義ヲ旨トシ、或參勤交替ノ時ヲモ不達、或日ノ私 節ヲモ能動メ唯一分ノ氣遣ハシ是非二不 及			
74	11巻	仙石越前守藤原政明		文武ノ道ヲ不学ト書ス云 井、本文ノ通り行跡法ニ 叶フ則シノ不学ハ云ヒ 難シ*	道ヲ行ヒ理ニ不達ハ不学 ノ道者トモ云ツヘシ。	殊ニ勇法ヲ旨トシ武業ヲ 馬ヲ嗜ムル事家業当 然亦、善也。	*但シ天性仁義相備ハル ル者ナラバ、最モ善クナリテ 吉トス	非 忠義ヲ旨トシ、或參勤交替ノ時ヲモ不達、或日ノ私 節ヲモ能動メ唯一分ノ氣遣ハシ是非二不 及			
75	11巻	小笠原佐渡守源長重		文武ノ道ヲ不学ト書ス云 井、本文ノ通り行跡法ニ 叶フ則シノ不学ハ云ヒ 難シ*	道ヲ行ヒ理ニ不達ハ不学 ノ道者トモ云ツヘシ。	殊ニ勇法ヲ旨トシ武業ヲ 馬ヲ嗜ムル事家業当 然亦、善也。	*但シ天性仁義相備ハル ル者ナラバ、最モ善クナリテ 吉トス	非 忠義ヲ旨トシ、或參勤交替ノ時ヲモ不達、或日ノ私 節ヲモ能動メ唯一分ノ氣遣ハシ是非二不 及			
76	11巻	京極藤原源高成		文武ノ道ヲ不学ト書ス云 井、本文ノ通り行跡法ニ 叶フ則シノ不学ハ云ヒ 難シ*	道ヲ行ヒ理ニ不達ハ不学 ノ道者トモ云ツヘシ。	殊ニ勇法ヲ旨トシ武業ヲ 馬ヲ嗜ムル事家業当 然亦、善也。	*但シ天性仁義相備ハル ル者ナラバ、最モ善クナリテ 吉トス	非 忠義ヲ旨トシ、或參勤交替ノ時ヲモ不達、或日ノ私 節ヲモ能動メ唯一分ノ氣遣ハシ是非二不 及			
77	11巻	青山下野守藤原忠重		文武ノ道ヲ不学ト書ス云 井、本文ノ通り行跡法ニ 叶フ則シノ不学ハ云ヒ 難シ*	道ヲ行ヒ理ニ不達ハ不学 ノ道者トモ云ツヘシ。	殊ニ勇法ヲ旨トシ武業ヲ 馬ヲ嗜ムル事家業当 然亦、善也。	*但シ天性仁義相備ハル ル者ナラバ、最モ善クナリテ 吉トス	非 忠義ヲ旨トシ、或參勤交替ノ時ヲモ不達、或日ノ私 節ヲモ能動メ唯一分ノ氣遣ハシ是非二不 及			
78	11巻	脇坂淡路守藤原安照		文武ノ道ヲ不学ト書ス云 井、本文ノ通り行跡法ニ 叶フ則シノ不学ハ云ヒ 難シ*	道ヲ行ヒ理ニ不達ハ不学 ノ道者トモ云ツヘシ。	殊ニ勇法ヲ旨トシ武業ヲ 馬ヲ嗜ムル事家業当 然亦、善也。	*但シ天性仁義相備ハル ル者ナラバ、最モ善クナリテ 吉トス	非 忠義ヲ旨トシ、或參勤交替ノ時ヲモ不達、或日ノ私 節ヲモ能動メ唯一分ノ氣遣ハシ是非二不 及			
79	11巻	久世出雲守藤原重之		文武ノ道ヲ不学ト書ス云 井、本文ノ通り行跡法ニ 叶フ則シノ不学ハ云ヒ 難シ*	道ヲ行ヒ理ニ不達ハ不学 ノ道者トモ云ツヘシ。	殊ニ勇法ヲ旨トシ武業ヲ 馬ヲ嗜ムル事家業当 然亦、善也。	*但シ天性仁義相備ハル ル者ナラバ、最モ善クナリテ 吉トス	非 忠義ヲ旨トシ、或參勤交替ノ時ヲモ不達、或日ノ私 節ヲモ能動メ唯一分ノ氣遣ハシ是非二不 及			
80	12巻	松平和泉守藤原益		文武ノ道ヲ不学ト書ス云 井、本文ノ通り行跡法ニ 叶フ則シノ不学ハ云ヒ 難シ*	道ヲ行ヒ理ニ不達ハ不学 ノ道者トモ云ツヘシ。	殊ニ勇法ヲ旨トシ武業ヲ 馬ヲ嗜ムル事家業当 然亦、善也。	*但シ天性仁義相備ハル ル者ナラバ、最モ善クナリテ 吉トス	非 忠義ヲ旨トシ、或參勤交替ノ時ヲモ不達、或日ノ私 節ヲモ能動メ唯一分ノ氣遣ハシ是非二不 及			

NO	巻号	大名名	1 主将ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智
81	12巻	太田孫津守源直重	主将トシテ文武ノ学ニキ事不足トス	文武二略ナハ精進ニ非ニシテ心算明ヲカキテス。故ニ主将ハ文武ヲ以テトナシテ武ヲ以テテス。且五将ヲ専ラシテ武ノ人ナリカノ国家始ラズト云フ事ナシ	文武二略ナハ精進ニ非ニシテ心算明ヲカキテス。故ニ主将ハ文武ヲ以テトナシテ武ヲ以テテス。且五将ヲ専ラシテ武ノ人ナリカノ国家始ラズト云フ事ナシ	武道ヲ好ミ士ヲ勵シ、武將ヲ薦ス。	生得 禮カニ執行ルトナレハ難クヘキ様ナシ	行跡 去其行跡悪義ヲナク仕置順路ナレ故ニ家民豊カニシテ困窮セズトナリ	所行 忠孝ヲ旨トシテ、勤侯不怠国家ノ政道	徳 短氣ニ慕リ忿レハ心有ト成ハ智仁ノ勇ニ非ト可シカラズ	才智
82	12巻	本庄安芸守藤原宗俊	人主ノ心得如此心得行跡ヲ離シ道ヲ以テ家民ヲ導キ其様ヲ施サシメ不洽ト云事ナシ		文ヲ不知主将ハ必所行寛東ナシト也 武門ニ生レ文道ヲ不知シテ、勝利ヲ得難シ		生得 生得淳然トシテ礼正シテ国家ノ政道不義ナク、行跡不運動候セラレハト成ハ、将ノ威備ナリ	行跡 去其行跡悪義ヲナク仕置順路ナレ故ニ家民豊カニシテ困窮セズトナリ	所行 忠孝ヲ旨トシテ、勤侯不怠国家ノ政道	徳 短氣ニ慕リ忿レハ心有ト成ハ智仁ノ勇ニ非ト可シカラズ	才智
83	12巻	岡部兼運守藤原宣就	交行隆		文ヲ不知主将ハ必所行寛東ナシト也 武門ニ生レ文道ヲ不知シテ、勝利ヲ得難シ		生得 生得淳然トシテ礼正シテ国家ノ政道不義ナク、行跡不運動候セラレハト成ハ、将ノ威備ナリ	行跡 去其行跡悪義ヲナク仕置順路ナレ故ニ家民豊カニシテ困窮セズトナリ	所行 忠孝ヲ旨トシテ、勤侯不怠国家ノ政道	徳 短氣ニ慕リ忿レハ心有ト成ハ智仁ノ勇ニ非ト可シカラズ	才智
84	12巻	松平内匠頭源昌興	亡父昌勝		主将トシテ文道ノ学ニキ事不足ノ第一トス	武道ヲ好ミ弓馬ヲ嗜ムトナリ、	生得 好悪ノ意地ナク、行跡不義ニ非又所行宜シトナシ	行跡 去其行跡悪義ヲナク仕置順路ナレ故ニ家民豊カニシテ困窮セズトナリ	所行 忠孝ヲ旨トシテ、勤侯不怠国家ノ政道	徳 短氣ニ慕リ忿レハ心有ト成ハ智仁ノ勇ニ非ト可シカラズ	才智
85	12巻	福業能登守藤原知通	亡父昌勝		主将トシテ文道ノ学ニキ事不足ノ第一トス	武道ヲ好ミ弓馬ヲ嗜ムトナリ、	生得 好悪ノ意地ナク、行跡不義ニ非又所行宜シトナシ	行跡 去其行跡悪義ヲナク仕置順路ナレ故ニ家民豊カニシテ困窮セズトナリ	所行 忠孝ヲ旨トシテ、勤侯不怠国家ノ政道	徳 短氣ニ慕リ忿レハ心有ト成ハ智仁ノ勇ニ非ト可シカラズ	才智
86	12巻	浅野士佐守源長澄	義父長照		主将トシテ文道ノ学ニキ事不足ノ第一トス	武道ヲ好ミ弓馬ヲ嗜ムトナリ、	生得 好悪ノ意地ナク、行跡不義ニ非又所行宜シトナシ	行跡 去其行跡悪義ヲナク仕置順路ナレ故ニ家民豊カニシテ困窮セズトナリ	所行 忠孝ヲ旨トシテ、勤侯不怠国家ノ政道	徳 短氣ニ慕リ忿レハ心有ト成ハ智仁ノ勇ニ非ト可シカラズ	才智
87	12巻	秋田信濃守安部輝季	亡父盛孝		主将トシテ文道ノ学ニキ事不足ノ第一トス	武道ヲ好ミ弓馬ヲ嗜ムトナリ、	生得 好悪ノ意地ナク、行跡不義ニ非又所行宜シトナシ	行跡 去其行跡悪義ヲナク仕置順路ナレ故ニ家民豊カニシテ困窮セズトナリ	所行 忠孝ヲ旨トシテ、勤侯不怠国家ノ政道	徳 短氣ニ慕リ忿レハ心有ト成ハ智仁ノ勇ニ非ト可シカラズ	才智
88	12巻	松平周防守源康賢	亡父盛孝		主将トシテ文道ノ学ニキ事不足ノ第一トス	武道ヲ好ミ弓馬ヲ嗜ムトナリ、	生得 好悪ノ意地ナク、行跡不義ニ非又所行宜シトナシ	行跡 去其行跡悪義ヲナク仕置順路ナレ故ニ家民豊カニシテ困窮セズトナリ	所行 忠孝ヲ旨トシテ、勤侯不怠国家ノ政道	徳 短氣ニ慕リ忿レハ心有ト成ハ智仁ノ勇ニ非ト可シカラズ	才智
89	13巻	藤堂備前守藤原高望	前半主ノ兄高通		主将トシテ文道ノ学ニキ事不足ノ第一トス	武道ヲ好ミ弓馬ヲ嗜ムトナリ、	生得 好悪ノ意地ナク、行跡不義ニ非又所行宜シトナシ	行跡 去其行跡悪義ヲナク仕置順路ナレ故ニ家民豊カニシテ困窮セズトナリ	所行 忠孝ヲ旨トシテ、勤侯不怠国家ノ政道	徳 短氣ニ慕リ忿レハ心有ト成ハ智仁ノ勇ニ非ト可シカラズ	才智
90	13巻	黒田甲斐守 源長重	前主ノ兄高通		主将トシテ文道ノ学ニキ事不足ノ第一トス	武道ヲ好ミ弓馬ヲ嗜ムトナリ、	生得 好悪ノ意地ナク、行跡不義ニ非又所行宜シトナシ	行跡 去其行跡悪義ヲナク仕置順路ナレ故ニ家民豊カニシテ困窮セズトナリ	所行 忠孝ヲ旨トシテ、勤侯不怠国家ノ政道	徳 短氣ニ慕リ忿レハ心有ト成ハ智仁ノ勇ニ非ト可シカラズ	才智

NO	番号	大名家	1 主将ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智
91	13巻	亡父 長真 清口信濃守源宣廣	故有子舎兄忠之不和 列ノト聞又与右衛門 佐光之ノ代ニ到テ順熟 セシム	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
92	13巻	蜂須賀飛騨守源隆重	誠ニ道有得ト云ヘリ其 比專ラ聖賢ノ人共沙汰 ス	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
93	13巻	水野監物 源忠之	此得仁成子專ラニセテ ル事主将ノ法ニ叶ヘル	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
94	13巻	加藤遠江守 藤原泰経	人主トシテハ只治国安 民ノ道ヲ可學是即文武 ニ道ヲ云リ	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
95	13巻	有馬左衛門佐藤原永純	主将トシテ文道ノ学ニ キ事一輪一翼ノチキカ 如シ武道ノ家業ヲレハ 可ナリ	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
96	13巻	板倉周防守源重冬	主将トシテ文武ヲ学ヒ 行跡正ク家民ヲ憐ミ... 是人主ノ法意トス	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
97	13巻	内藤紀伊守 藤原信勝	文武ヲ少々心掛ケル	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
98	13巻	浅野内匠頭 源長矩	惟名七兵衛ヲ召抱工切 又丹ノ旨見セシム... 無念ノ落度御不審ヲ蒙 リ...御使薩御恩地共 ニ召上ラレル...	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
99	14巻	松平紀伊守 源信慈	百年亦天下ノ執權ニモ 補セラルヘキカ	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智
100	14巻	伊東大和守 藤原祐實	世ニ善シ有シ得ト聞ク 其豫風ヲ信慈行跡不義 チク善行ヲ導ラセラル 由ナリ	文武	文	武	生得	行跡	所行	徳	才智

NO	巻号	大名名	1 主得ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 種	9 才智
101	14巻	鍋島康津守 藤原直之	主得ナル人文武ノ道一 方又子ハ不足ナル所ヲ リ況ヤ而様共ニ不学則 シハ軍ノ而論諸馬ノ而業 或ハ主得ノ法ヲ忘却スル ニ等シク	文武両道トモニ不学	文 少々神道ヲ志シ和歌ヲ嗜ム	武	生得 生得淳直	行跡 不義ナク和順ヲ旨トシ	所行	和順ヲ旨トシ家民ヲ憐ム	才智
102	14巻	黒田伊勢守 源長清	主得ノ学ヘキハ文武ノ 両道ナリト	文武両道トモニ不学	文 文武両道ヲ志シ	武 武法ヲ嗜ミ武芸ヲ好ミ	生得 生得容毅ニシテ利根発明 ナリ	行跡 正シク	所行 重シ	物事精和ニテ家民ヲ憐 ミ…故道法ニ當リ物事 理和ナリ…大槩ニシテ國 家豊カナリト云ヘリ	才智
103	14巻	井上大和守 源正道	殊ニ此得田職ニ備ヘラ レ天下ノ政務ヲ計ル事 聖賢ノ教範ヲ自カトス シ尤知慮ヲ廻シ善惡ノ 輕重ヲ正シ物事理弁有 テ…	文武両道トモニ不学	文 文武両道ヲ志シ	武 武法ヲ嗜ミ武芸ヲ好ミ	生得 生得淳然トシテ心意発明 ナリ	行跡 悪義ナク	所行 重シトナリ	身ヲ慎ミ…家民民間ニ 施シ有テ	才智
104	14巻	父正任 青山播磨守 藤原幸明	文武ノ道ヲ不学少々武 芸ヲ好ミ馬ヲ教養短慮 ニシテ聰曠ノ氣味ナク 諸徒ヲ仕フニ好惡有テ 今日出頭スル者明日ヲ 怪ム好曲居ノ氣ハ正任 健 志ノ精誠アルハ正任健 志ノ精誠アルヤ	文武両道トモニ不学	文 文武両道ヲ志シ	武 武法ヲ嗜ミ	生得 生得利榮	行跡 正シク	所行 正シト見ヘタリ	家民民間ヲ勵シ理ヲ 正シ運ヲ明カニ政道セシ ト欲セラルル器アリ家民 少々苦ミ安堵スルコト危 シトナリ	才智
105	14巻	養祖父幸利	聖人君子ハ事物ノ根元 ヲ明カニ辨ヘ事ノ成就 スルトセザルトノ差別或 國家ノ治乱ヲ計リ且我 身ノ出ルル入ルトノ節ヲ 知ル是天理自然ノ道理 ナリ	文武両道トモニ不学	文 文武両道ヲ志シ	武 武法ヲ嗜ミ	生得 生得寛然トシテ	行跡 静カニ	所行	家民民間ヲ勵シ理ヲ 正シ運ヲ明カニ政道セシ ト欲セラルル器アリ家民 少々苦ミ安堵スルコト危 シトナリ	才智 才智発明
106	14巻	松平伊賀守 源忠徳 亡父 忠昭	信政元來武勇ニ專リ剛強ノ 氣味有テ家士擧カラスト云ヘリ…津輕將監ト云フ出来家老有テ悉古法ヲ 破テ新法ニ改メ家民ノ困窮國家ノ憂ヘ傍以テ信政ノ唱ヘ宣シカラサル所に…	文武両道トモニ不学	文 文武両道ヲ志シ	武 武法ヲ嗜ミ	生得 生得純明	行跡 直シ	所行 直シ	本ノ仁礼厚ク…家士民間 ニ長深ク施シ	才智 心意正淳
107	14巻	秋元但馬守 藤原高朝	誠ニ若得子ト共是等ハ 其器壹備ハルルト見ヘ タリ	文武両道トモニ不学	文 文武両道ヲ志シ	武 武法ヲ好ミ弓馬ヲ嗜ム	生得 生得寛博	行跡 正シク	所行 直シク	家民ヲ愛憐シ民ヲ撫育 ス…善シ有ル良將ナリ	才智 才智発明ナリ
108	15巻	亀井越前守 源慈親 父 慈政	誠ニ若得子ト共是等ハ 其器壹備ハルルト見ヘ タリ	文武両道トモニ不学	文 文武両道ヲ志シ	武 武法ヲ好ム弓馬ヲ嗜ム	生得 生得利榮・忠評素和トハ 云ヒ難シ	行跡 正シク	所行 直シク	家民ノ仕置精カ也。	才智 才智発明ニシテ道ヲ專ラ テ不忿家民ヲ撫育シ不貧 ト
109	15巻	松平遠江守 源忠喬	誠ニ若得子ト共是等ハ 其器壹備ハルルト見ヘ タリ	文武両道トモニ不学	文 文武両道ヲ志シ	武 武法ヲ志シ弓馬ヲ嗜ム	生得 生得発明	行跡 正シク	所行 直シト云ヘリ	家臣安藤氏不義不道ノ行跡 ニテ忠喬若得ナルヲシ己力 奮後ノ興ニ兼シ…家中ニツ クニ分テ騒動セシ処ニ 忠喬元來刑禁ニテ一門一族 ヘ内談ヲ究メ既ニ抑込其 上…	才智 才智発明ニシテ道ヲ專ラ テ不忿家民ヲ撫育シ不貧 ト

NO	番号	大名名	1 主得ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 備	9 才智
110	15巻	小笠原信濃守源久國 香兄 匠作		文武ノ志ナキニモ非ス	本/文道ヲ不学	本/武道ヲ志シ	本/生得穏淳	行跡不義ナク	本/所行宜シトナリ	本/家國ノ政道旧臣等ニ 談シ	本/心意發明ナリ 長胤ノ所行不義多シ
111	15巻	金森出雲守 源頼時	此将一國一城ヲ治メ文 道ヲ不学ハ不賢ナルヘ シ		文道ヲ不学	武法ヲ好ミ弓馬ヲ嗜ミ	生得淳然		所行宜シク	仁礼ヲ厚ク忠節ヲ勵メシ 家民ヲ哀憐セテ其ノ國家ノ 政道斷ク不義ナク臣等ト 談シ執行ハハルル	發明ナリ
112	15巻	永井豊熊 大江直平	直平成人ニ及ヒ諸芸諸 学ヲ好メハ善ノ良將 トモ謂レシヤ				本/生得發明ニシテ穩順 ニ見ユルトナリ	未タ微若ナル故行跡ノ差 別ナシ		國家ノ政道臣等能ク是ヲ 執行故ニ家中穩カナリト	
113		養祖父市正		文武ノ道ヲ学ヒ			生得發明ニシテ礼儀ヲ旨 トシ	行跡正ク		家民ノ政道順ナリ	
114	15巻	九鬼大和守 藤原隆方	善シノ将ニシテ難スヘ キ事ナシ	文武ニ志アリ			生得發明	行跡正ク好悪ノ念ナシ	家風昔日ニ不替シテツ クヤカナル也	本/發達ノ家民ニ施シ國 家ノ仕置ハ臣等先主ノ穩 順ニ比シテ政道ヲ執行ニ 能主君ヲ補佐ス	
115	15巻	毛利甲斐守 大江綱元	ソノ那領ノ主トシテ文武 ノ学ヒ有レバハ善行ノ 本也。名譽ノ先功子孫 ニ傳リテ今綱元ノ所行 他ノ将ニモ少々々々ハセ タキモノ也	文武武法ヲ学ヒ	軍記記録等ヲ好ミ	馬ヲ好カカルトナリ	生得悠然	行跡豊カニ法ニ叶ヒ	名譽ノ先功子孫ニ傳リテ 今綱元ノ所行他ノ将ニモ 少々々々ハセタキモノ也	仁義ニシテ礼法ヲ守リ家 民ヲ哀憐シ仕置等家臣 任セラルル事可也	發明理弁ノ徳備ハルル故 也
116	15巻	土岐伊豫守 源頼隆	此將武法ヲ好ムルル事 家業タリ去ハ一城ノ主ト シテ文道ヲ不学ハ不足 也		本/文道ヲ不学	本/武法ヲ好ミ	本/生得淳然			仁義ヲ尊ニ忠孝ヲ旨トシ 家民ヲ憐ニ政道順ナリ	才智有テ
117		父頼行		文武ヲ学ハハルル沙汰ナシ	通リ心懸正理ニ至アルル 故カ			行跡寛クトシテ正	不義不忿ト也手前不知 意ナリシト	家民ヲ哀憐シ不忿不忿ト 也	
118	15巻	藤助安芸守源忠虎	ソノ國家ヲ治メト欲セハ 文武両道ヲ学フ事肝要 ナリ	文武ヲ学ヒ			生得悠然	行跡法ニ叶ヒ		善シモナク諸モナシ。家民 ノ仕置宜シ。家民豊カニ 治リ聊カ難ナシト見ヘタリ	
119	15巻	父忠隆			医学ヲスキ且手跡ヲ嗜ミ					忠孝ヲ旨トシ物事慎ミ勤 儉不怠家民憐ニ國家の仕 置キ穩順也	發明也
120	15巻	松平駿河守 源定頼	誠ニ主得ノ法ニ事毎叶 フ所也	文武ノ学ヒ有シ事尤モ善 也			生得淳直	義ヲ守リ行跡正ク		忠孝ヲ旨トシ。家民ヲ憐 ム事疎カナラス	
121	15巻	仁父 定時	善有得也	文武両道ニ達シテ能力其 理ニ通アル	文ヲ学ヒ			行跡穩順		家民ノ惠ニ憐ク	
122	15巻	祖父 定房入道	曾子主得ノ武器ニアタ ラズ不義多キ人タリシカ ラ					安心行跡世ノ唱ヘ宜シカ ラス		家民ノ惠ニ憐ク	
123	16巻	土井甲斐守 源利治	人倫ノ根元ハ孝教ノ權 ヲ履クニ即チ忠信ニ至 ル是天然ノ道理也		本/文道ヲ不学	本/武法ヲ好ミ	生得淳直	行跡靜カニ正ク道ヲ守 ラルヘヨモ若將ニハ珍シハ	本/國家ノ仕置等臣トシ テ執行最モ宜シト	本/孝教ヲ尊トシ家民ヲ 憐ニ愛護シ	
124	16巻	父利房	天下ノ執權ヲ司リ國家 ノ安危ヲ沙汰セラシ善 シ有シ得ナリ		文道ヲ嗜ミ			行跡正シク	所行宜シキ	仁礼厚ク忠節ヲ尊トシ	
125	16巻	祖父利勝	世に聽レシキ善シノ將深智明安ニシテ御代々ノ上輩ニ應シ天下ノ執權ヲ司リ								
126	16巻	牧野頼政守 源英成	善將ト云テ難スヘキ事 ナシ。近年御業若役ヲ 兼リ專ラ勤儉アリ	本/文武少々学ヒ	本/豫業ヲ好メリ		本/生得柔和	本/行跡淳ナリ	本/美小人ヲ愛セリ	本/家土ヲ憐ニ民間ヲ惠ム 善シ有得カ	
127	16巻	養父富成	老年に及ヒテモ子息ナキモ美風ノ愛慕シキカ故ナラシ								

NO	巻号	大人名	1 主得ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智
120	16巻	毛利飛騨守 大江元次	主得ノ法文武ノ道ヲ不学事第一ノ不足トシテ元次生得身直ニシテ行跡直シトナレハ難ナルニ不及	本/文武ヲ学ハハルニハ非又		本/弓馬ヲ嗜ミ	本/生得淳然	本/行跡不義ナク	本/世間ヲ専ラニシテ所行不義ナク	本/家士民間ヲ憐ミ忠義ヲ重シ	心意慈シ
121	16巻	井伊兵部少輔藤原直房	善ノ事ノ差別ヲ認リ有	文武ノ学ヒテナク	枯天ト云ル舟土僧ニ招キ其法ニ因シ只念仏一辺ノ行者ノ如ク...		生得愚昧	行跡豊カ也	本/公勤ヲ不怠世間ノ出合順ナリト	本/家民間ノ仕置臣等是ヲ執行ト也	脆弱ナルカカハ魯鈍ナルニヤ
122	16巻	内藤駿河守 藤原清長		文武ノ学ヒテナク		弓馬ヲ嗜ミ	生得利発	行跡宜シク	所行宜シ	家士民間ノ仕置臣等是ヲ執行ト也	才智発明
123	16巻	松平日向守 源重賢	善シテ得ル事繁短ノ道ニ叶ヘリ最モ善得タリ	本/文武ヲ少々学ヒ			生得悠トシテ	父祖ヨリ以来生得行跡共ニ正シキ事ナシ	所行悪義ナク	本/仁義ヲ正シク家民ヲ憐ミ忠孝ヲ勵シ家ノ任置権力ニシテ國家ノ政道順ナリ	
124	16巻	京極甲斐守 源高住	同名丹後守高国父子ノ行跡悪クハ子善ノ奉行ノ如ク	本/文武ノ学ヒテナク			本/生得寛然トシテ	此得不應ニ舎兄ノ跡式ヲ継テ認領トナラルル故物事權ニ有ニ依テ行跡ヲ不亂シテ	本/不義ナク所行アリ	本/義理ヲ守リ家民ヲ憐ミ忠孝ヲ勵シ家ノ任置権力ニシテ國家ノ政道不義ナク	
125	16巻	朽木伊豫守源種昌	内外ノ徳備ハハリ誠ニ善シノ将タリ	本/文武両道ヲ学ヒ			本/行跡不義ナシ	本/行跡不義ナシ	本/所行不義ナシ	本/家民ノ政道法ニ叶ヒテ手前不如意ノ由置臣等是ヲ執行ト	本/才智利弁
126	16巻	細川采女正 源利昌		本/文武ノ沙汰ナシ		武勇ヲ好ミ弓馬ヲ嗜ミ相撲ヲ好カレシトナシ	本/生得總然トシテ発明	本/行跡宜シク	本/所行不義ナシ	家民ヲ憐ミ家國ノ政道仕置臣等是ヲ執行ト	利根発明ナリ
127	16巻	板倉甲斐守 源重長	誠ニ主得ノ法ニ叶フ所也	文武ノ道ヲ不学			生得淳ニシテ	行跡異義ナク		本/礼法ヲ専ラニ義ヲ正シ勤儉不怠家民ヲ厚シ家國ノ政道穩順ナリ	
128	17巻	松平左京大夫源頼純	善シノ将タリ	本/文武両道ヲ学ヒ			本/心意発明	行跡淳ニシテ柔和ナリ		万事穩順ニシテ家民ヲ厚シセラレシト	
129	17巻	松平摂津守源義行	善シノ器備ル良將トモ云ツヘシ	文武両道ヲ学ヒ	日記書籍ヲ好ミ給フ	武芸ヲ嗜ミ	天性敏賢	行跡正ク	所行正ク...甚美女子愛セラレトナリ	孝敬ヲ専ラニシテ家士民間ヲ厚シ有テ	此家ノ風俗大家ノ別ニ故物事大様ニシテ尤家中等大ヤカナリ
130	17巻	堀左京亮 菅原直利	君子ノ道ニ叶ヒ者徳武備ノ勇将ナルヘキナリ	文武ノ道少々志アリ			生得淳然	行跡聊カ不違ト	所行重シカリシト	仁義ヲ守リ忠孝ヲ旨トシ不義不貪家民ヲ憐ミ國家ノ政道順	才智発明
131	17巻	永井伊賀守 大江尚富	最モ主得ノ法ニ叶ヘリ...後年ニ及ビ善得ノ善シナリ	文武ヲ少々心懸	文武ヲ不学	武道ヲ専ラニシ	生得淳直	行跡正シ	仕置等穩順にして	仁義ヲ厚ク忠孝ヲ旨トシ勤儉不怠家民ヲ憐ミ	
132	17巻	亡父尚庸	徳操ノ将タル故所司代職ニ補セラレシ	文武両道			本/生得寛悠ニシテ利根ナリ	本/行跡悪義ナク		本/世間ノ勤不怠家士民間ヲ施シ國家ノ政道宜シトナリ	心意発明理弁
132	17巻	細川和泉守 源有孝			文武ヲ不学	本/武法ヲ好ミ弓馬ニ心懸	本/行跡寛悠ニシテ利根ナリ	本/行跡悪義ナク		本/世間ノ勤不怠家士民間ヲ施シ國家ノ政道宜シトナリ	

NO	番号	大名名	1 主稱/法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 才智
133	17巻	田村右京大夫坂上建頼	諸事ヲ兼学セラル其理ヲ究ムト欲セザル事主將ノ本意ナラズヤ	文武両道ヲ少々学セ	日記書籍ヲ数寄尤和歌ヲ嗜ミ	軍学ヲ嗜ミ、弓馬ヲ心懸	生得発明	本/行跡正ク	本/所行宜シ	本/慈準専二家士民間ヲ懐ニ、孝敬ヲ守リ仁礼厚ク世間ノ勤不怠	
134	17巻	島津淡路守 源惟久	君子ノ法ニ叶ヒ厚徳備リタル将ナリ	文武ノ道少々	手跡ヲ嗜ミ物事集練ナリシト	本/弓馬ヲ嗜ミ	生得寛博	行跡精力	本/所行宜シトナリ	仁義ヲ旨トシ不忿不食家士民間ヲ懐ニ家臣ノ任直徳禮ニ于慈準専ヲトシ道ヲ正シ法ヲ守リ	
135	17巻	養父 式部少将 実父 久英		文武ノ道少々心懸アリ	文道不学	弓馬ヲ好ミ 武道ヲ好ミ	生得穩和	行跡正ク 行跡剛勇ヲ旨トス	所行悪意ナシ 飲酒甚クシ	仁義ヲ専ラニシテ 家臣ヲ重シ悪義ヲ躰久道アリシト云ヒ云フ	
136	17巻	伊達左京亮 藤原宋春	主將タルノ威儀生シナカラニ備ハリノ器ト云ツ見ヘキモノナリ	本/文道ヲ学セ武法ヲ好ミ		武法ヲ嗜ミ	生得寛然	行跡法ニ叶ヒ	本/所行不違	本/礼讓ヲ旨トシ、道ヲ正ク家士ヲ勵メ武道順路ナリ	本/心意穩和
137	17巻	祖父 宗純 養父 宗重	成長ニ及ヒ當シモ可有ナリ	本/物事兼学スヘキ志有テ	文道不学	武法ヲ嗜ミ	心意発明	行跡穩順ニ見エル	所行臣等ニ任セラルトナリ	家士民間ニ愛機ノ気味アリ	心意邪曲ナラズ
138	18巻	松平内藏頭 源頼職	主將トシテ文武ノ学セナキハ大ニ不足ナルヘシ、本文ノ如ク行跡不違則シハ後々當シモ加有		文道不学	武法ヲ少々心懸弓馬ヲ好	生得穩順	行跡剛勇ヲ旨トス	所行悪意ナシ	家臣ヲ懐ニ 悪義ナク勇武ヲ旨トシ家臣ノ政道順ナリ	心意利根発明
139	18巻	祖父 忠國 松平主税守 源頼久	祖父 忠之 舎兄 忠之	文武ヲ不学	文道ノ学ニナシ	武法ヲ少々心懸弓馬ヲ好	生得発明	行跡正ク	所行宜シ	家臣ヲ懐ニ 悪義ナク勇武ヲ旨トシ家臣ノ政道順ナリ	心意利根発明
140	18巻	秋月長門守 大藏運政	祖父 忠國 養父 忠之	文道ノ学ニ少々有之	文道ノ学ニナシ	武法ヲ好ミ	生得淳直	行跡宜シク	本/所行不義アラズ	悪義ナク勇武ヲ旨トシ家臣ノ政道順ナリ	心意利根発明
141	18巻	大村印康守 藤原純長	祖父 忠國 養父 忠之	文道ノ学ニ少々有之	文道ノ学ニナシ	武法ヲ好ミ	生得淳直	行跡宜シク	本/所行不義アラズ	悪義ナク勇武ヲ旨トシ家臣ノ政道順ナリ	心意利根発明
142	18巻	小出伊勢守 藤原英利	祖父 忠國 養父 忠之	文道ノ学ニ少々有之	文道ノ学ニナシ	武法ヲ好ミ	生得淳直	行跡宜シク	本/所行不義アラズ	悪義ナク勇武ヲ旨トシ家臣ノ政道順ナリ	心意利根発明

NO	番号	大名名	1 主得ノ法	2 文武	3 文	4 武	5 生得	6 行跡	7 所行	8 徳	9 子賢
143	18巻	池田内匠 源政燕	道有得ヲリシトナシ	文武面道ヲ学ビ	武	武	本ノ生得發明	本ノ行跡懇順	本ノ所行悪義ナク	本ノ家民ヲ施シテ公勤ヲ専ラニシテ政道宜シト也	
144	18巻	祖父 政言 池田右衛門佐 源家隆	道有得ヲリシトナシ 世ニ體シテ其良習トシテ教ヲ傳メ國家ヲ導キ功成名遂ヲ後安居セラル其徳子孫ニ及ホス	文武面道ヲ学ビ	武	武	生得寛然	行跡正シク			孝教ヲ専ラニス
145	18巻	祖父 家貞 西尾隠岐守 源忠成	道ヲ学ビ埋ニ至リ行跡ヲ體シ忠勤ヲ勵メテ以テ主得ノ大要トス本文ノ如クナラハ生レナカラノ道有人也	文武ノ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意發明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			本ノ家民ヲ憐ミ所行不義ナク
146	18巻	祖父 忠照 伯父 主水	心意行トモニ善シノ人タリシトナリ忠成若年ノ時分父ニ後ルル	文武ノ学ニ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意發明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			本ノ家民ヲ憐ミ所行不義ナク
147	19巻	祖父(安次父) 加藤越中守藤原明英	天性正路孝直にして名和ニカカラズ無敵ノ人ナリ幸尼忠照死去ノ時遺状ニ任セテ主水忠成ト交代シテ相勤ム	文武ノ学ニ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意發明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			本ノ家民ヲ憐ミ所行不義ナク
148	19巻	(祖父)加藤明成 松平王威守藤仲遠	得ノ器備リ道德ニ叶フ所也	文武ノ学ニ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意發明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			本ノ家民ヲ憐ミ所行不義ナク
149	19巻	木下門右衛門大夫豊臣俊 堀山兵部少輔藤原正祐	文武ノ学ニ志アリシトナシ	文武ノ学ニ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意發明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			本ノ家民ヲ憐ミ所行不義ナク
150	19巻	六卿伊賀守藤原政晴 (父)六卿政信 (祖父)六卿政勝	文武ノ学ニ志アリシトナシ	文武ノ学ニ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意發明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			本ノ家民ヲ憐ミ所行不義ナク
151	19巻	福垣对馬守源重富 (父)福垣重祥	文武ノ学ニ志アリシトナシ	文武ノ学ニ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意發明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			本ノ家民ヲ憐ミ所行不義ナク
152	19巻	松平福壽守源頼隆	文武ノ学ニ志アリシトナシ	文武ノ学ニ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意發明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			本ノ家民ヲ憐ミ所行不義ナク
153	19巻	堀天和守菅原親賢	文武ノ学ニ志アリシトナシ	文武ノ学ニ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意發明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			本ノ家民ヲ憐ミ所行不義ナク
154	19巻	堀天和守菅原親賢	文武ノ学ニ志アリシトナシ	文武ノ学ニ志アリシトナシ		弓馬ヲ好ミ	心意發明ニシテ物事種和ナリ	家民ヲ憐ミ所行不義ナク			本ノ家民ヲ憐ミ所行不義ナク

NO	巻号	大名	1	2	3	4	5	6	7	8	9
155	19巻	大名家 土井式部少輔源和忠	主簿ノ法	文武	文	武	生得	行跡	所行		
				文武ノ不学		夫ノ出サレハ誠ハ誠ニ匹 夫ノ勇ナルベシ	生得寛然トシテ	行跡静力也			
156	19巻	(父)土井利長		文武ノ少々ナシ							
157	20巻	松平輝正忠源正久 松平大学頭源頼定		文武ノ不学							
158	20巻	(父)松平頼元 毛利固防守源高定 (父)毛利高久		文武二連シ							
159	20巻	木下肥後守豊臣国定 (父)木下利貞		文武志シ 少々文武両道ヲ心懸情勇 有テ			生得穩厚ニシテ家民ヲ憐 ムト云ヘリ	行跡正シク政道法ニ明 シ故ト云々			
160	20巻	宗対馬守平藏方 相良達江守藤原頼隆									
161	20巻	松平宮内少輔源忠尚		文武ノ学ニ有ルナレハ 將二叶フ所之							
162	20巻	織田越前守平信久		文武ヲ学ニ仁令厚ク			生得淳正ニシテ勤儉	行跡正シク家民憐ム	所行悪義ナク善シ有		
163	20巻	森和泉守源長且		文武ノ不学/文武トモ二兼 学ハサルヲ不足トス/文 理ヲ学ニサル故仁愛ノ心 ナキ		武道一門ニシテ/武法ヲ 専ラセラルル	心意英明ニシテ家民二愛 憐有	行跡正シカラズ 勇強ヲ以テ行跡トス/若ク ハ不義ノ行跡有	所行不道ナルシト云々 所行直シト云フモ非ス		
164	21巻	(父)森内記 (次男)森伯耆守長武		文武ノ学ニ會テナク 文武不学							
165	21巻	島田播磨守平忠林		文武ノ学ニ心懸/文武ノ 少々学セ				行跡悪義ナシ/行跡悪義 ナク	所行アルニ於テハ難ス ル点ナシ		
166	21巻	小笠原土伏守源真信		文武ノ道ヲ学ハサルハ不 足ノ根ナリ云ヘトモ本文二 連ハサル則シハ難スルハ ナシ		文武ノ好マラルトヘトモ キ或ハ歌ヲ嗜ミ	生得悠然タリ/心意英明 ニシテ家中ノ仕置穩カニ 和順ヲ以テ執行フ	行跡不道ニ於テハ難スヘ キハナシ	所行不義ナク		
167	21巻	松平均馬守源照重									
168	21巻	(父)松平武昭		文武両道ニ疎カシテ							
169	21巻	(伯父)藤原長政		文武ノ学ニキハ不足ト ス		武道ヲ好ミ	生得悠然トシテ	行跡正シク	所行悪義ナク		
170	21巻	酒井下野守源忠寛		文武ノ学ニキハ不足トス ヘシ		武道ヲ好ミ	生得淳正ニシテ忠義ヲ有ト シ	行跡正シク家民ヲ憐ニ仁義ヲ首トシ	(本文ノ如クシテ)所行不道 家士民間ヲ畏憚セラル 家ノ任順ナリ		
171	21巻	(父)石川口坂 南部右近源通信					心意英明ニシテ生得悠々		所行直シト云ヘリ		
172	21巻	(父)南部直政 分部軍入正源政信		文武ノ少々学ハル 文武ノ道ヲ学ハルル			生得悠然トシテ	行跡正シク (文武ノ道ヲ学ハルル故 ニ行跡慎ミナリ)	所行悪義ナク		
173	21巻	岩城伊代守平重隆					心意正シキ故ニ不義ナ シトカヤ	行跡ヲ専ラ嗜ミ善道ニ至			
174	22巻	松平上野介源近栄		文武ノ学ニ國家ヲ正シ							

NO	番号	大名名	1	2	3	4	5	6	7	8	9
175	22巻	織田山城守平信恒	主得ノ法	文武	文武	文武	文武	文武	文武	文武	文武
		(父)織田政国 (相父)織田長頼			文 文道 武道二心懸テキハ 大ニ誠ルナリ 夫阿道ト ハ羽義ノ如シ一方次テハ 難叶 文道ノ法ヲク 少々文道ヲ好ミ	武法ヲ嗜ミ 武法ヲ専ラシ	生得 生得寛然トシテ動候不怠	行跡 行跡寛博ニシテ不審不貪家民ヲ憐ミ	所行 所行宜シトテレハ難ズハ キハナシ		
176	22巻	松平但馬守源友親									
		(父)酒井忠朝 保科兵部少輔源正保 内藤右近藤原政盛			文 文道ヲ善ク不学 文道ノ学ヒナク	武法ヲ好ムトテレハ家業 武法ヲ好ミ馬ヲ嗜ム 武道少々心懸アリト云ヘ	生得 生得寛然トシテ (未タ若年ナリトモ本テノ 如ク)生得発明ニシテ物事 臣等ニ任セラレ	行跡 行跡静ナリ	所行 所行宜シク		
177	22巻	酒井石見守源忠宗									
		(父)内藤政宣				志 武道ヲ嗜ミ	生得 生得寛全トシテ柔和ヲ者 トシ	行跡 行跡善シ有	所行 所行悪義ノ意地ナカリテ		
178	22巻	板倉頼母源重清									
		(父)安部信之					生得 生得淨ニシテ不審ニ義ヲ 専ラニシ候々ト静カ也	行跡 行跡宜シク行跡不義有 ラシヨリハ不学トモ可ナリ	所行 所行臣等ニ誠ニ教行フ テレハ難ズルトコロナシ		
180	22巻	阿部摂津守源信友									
		(相父)内藤政晴					生得 生得淨然ニシテ家士ヲ憐 ム	行跡 行跡静カニ儀アリ	所行 所行寛柔ナク		
181	22巻	板倉頼母源重清									
		(一郡一村ノ主トナリテ) 文道ノ学ヒナキハ不 ナラシ					心懸 心懸発明	行跡 行跡宜シク行跡不義有 ラシヨリハ不学トモ可ナリ	所行 所行寛柔ナク		
182	22巻	佐竹土岐守源義和									
		(父)丸尾隆常					心懸 心懸所行共ニ宜シ	行跡 行跡和ニシテ家士民間ヲ憐ミ(主得ハ老若共ニ) 自己ノ心懸行跡ニヨル所ナリ	所行 所行有アルニ於テハ難 ズルヘキハナシ		
183	23巻	鍋島備前守藤原重頼									
		(父)丹羽氏房 (相父)丹羽氏純					生得 生得勇知ニシテ 生得発明ニシテ家士民間 ニ愛憐ヲ施サル	行跡 行跡宜シク行跡不義有 ラシヨリハ不学トモ可ナリ	所行 所行寛柔ナク		
184	23巻	九鬼万之口藤原久隆									
		(父)大関晴茂 (相父)大関晴栄					心懸 心懸発明ニシテ行跡宜 シトナリ	行跡 行跡宜シク公勤ヲ旨トシ	所行 所行善ナルヲ以テ君子 ノ道ニ叶ヘシ		
185	23巻	丹羽土岐守源氏喜									
		(父)石川総良 池田河内守源清定					心懸 心懸発明ニシテ行跡宜 シトナリ	行跡 行跡宜シク公勤ヲ旨トシ	所行 所行善ナルヲ以テ君子 ノ道ニ叶ヘシ		
186	23巻	大関陣正丹治増恒									
		(父)大関晴茂 (相父)大関晴栄					心懸 心懸発明ニシテ行跡宜 シトナリ	行跡 行跡宜シク公勤ヲ旨トシ	所行 所行善ナルヲ以テ君子 ノ道ニ叶ヘシ		
187	23巻	石川追江守総茂									
		(父)大関晴茂 (相父)大関晴栄					心懸 心懸発明ニシテ行跡宜 シトナリ	行跡 行跡宜シク公勤ヲ旨トシ	所行 所行善ナルヲ以テ君子 ノ道ニ叶ヘシ		
188	23巻	池田河内守源清定									
		(父)大関晴茂 (相父)大関晴栄					心懸 心懸発明ニシテ行跡宜 シトナリ	行跡 行跡宜シク公勤ヲ旨トシ	所行 所行善ナルヲ以テ君子 ノ道ニ叶ヘシ		
189	23巻	安部伊予守源正春									
		(父)大関晴茂 (相父)大関晴栄					心懸 心懸発明ニシテ行跡宜 シトナリ	行跡 行跡宜シク公勤ヲ旨トシ	所行 所行善ナルヲ以テ君子 ノ道ニ叶ヘシ		
190	23巻	松平藤口源源重頼									
		(父)大関晴茂 (相父)大関晴栄					心懸 心懸発明ニシテ行跡宜 シトナリ	行跡 行跡宜シク公勤ヲ旨トシ	所行 所行善ナルヲ以テ君子 ノ道ニ叶ヘシ		
191	23巻	本多伯耆守藤原正永									
		(父)大関晴茂 (相父)大関晴栄					心懸 心懸発明ニシテ行跡宜 シトナリ	行跡 行跡宜シク公勤ヲ旨トシ	所行 所行善ナルヲ以テ君子 ノ道ニ叶ヘシ		

NO	番号	大名	1	2	3	4	5	6	7	8	9
192	23巻	細川玄蕃源興英	文武	文武	文武	武	生得	行跡	所行		
		(父)細川興隆	文武ヲ不学	文武ヲ不学	文武ヲ不学	武	生得寛博ニシテ仁義ヲ守リ	行跡正シク家士民間ヲ慕フ施シ	所行(本文)不達		
193	24巻	池田丹波守源政倫									
194	24巻	森村馬守源長俊									
		(一)群一所ノ主トナリ(二)文武ノ事ニキキハ善ナラス					生得寛博ニシテ道ヲ守リ法ヲ不背孝教ヲ旨トシ		所行(本文)不達		
195	24巻	土方東市正源雄高									
		文武ノ学ヒアルトナレハ主将タルノ法ニ叶フ所							所行(本文)不達		
196	24巻	市橋下総守藤原政信									
197	24巻	酒井準人源忠純									
		(父)酒井忠国	文武ノ学ヒナキ故ハ女也								
198	24巻	稲垣安芸守源重定									
199	24巻	桂村大守源正朝									
		(父)酒井忠国	文武ノ学ヒナキハ大ニ不足ナル								
200	24巻	水野徳政源勝長									
		(父)内田勝生	文武ノ学ヒナキハ大ニ不足ナル								
201	24巻	内田主膳藤原正虎									
		(父)内田勝生	文武ノ学ヒナキハ大ニ不足ナル								
202	25巻	松平筑後守源頼道									
		(父)内田勝生	文武ノ学ヒナキハ大ニ不足ナル								
203	25巻	片桐主膳正源貞房									
		(父)五嶋盛清	文武ノ学ヒナキハ大ニ不足ナル								
204	25巻	五嶋万吉源盛高									
		(祖父)五嶋盛清	文武ノ学ヒナキハ大ニ不足ナル								
205	25巻	蓮山和泉守藤原友春									
		(祖父)五嶋盛清	文武ノ学ヒナキハ大ニ不足ナル								
206	25巻	渡辺備中守源基綱									
		(父)渡辺正綱	文武ノ学ヒナキハ大ニ不足ナル								
207	25巻	三宅備前守源康親									
		(父)三宅康勝	文武ノ学ヒナキハ大ニ不足ナル								
208	25巻	堀長門守藤原直矩									
		(父)三宅康勝	文武ノ学ヒナキハ大ニ不足ナル								
209	25巻	本多肥後守藤原政貞									
		(父)三宅康勝	文武ノ学ヒナキハ大ニ不足ナル								
210	25巻	谷大学源広頼									
		(父)三宅康勝	文武ノ学ヒナキハ大ニ不足ナル								
211	26巻	松平口守源忠充									
		(父)谷衛藤	文武ノ学ヒナキハ大ニ不足ナル								
212	26巻	堀田筑前守紀正國									
		(父)三宅康勝	文武ノ学ヒナキハ大ニ不足ナル								
213	26巻	松平志摩守源重能									
		(父)三宅康勝	文武ノ学ヒナキハ大ニ不足ナル								
214	26巻	久留崎信濃守越智通清									
		(父)三宅康勝	文武ノ学ヒナキハ大ニ不足ナル								

NO	番号	大名名	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		主稱ノ法	文武	文武	文武	文武	生得	行跡	所行	種	子智
215	26巻	太田原備前守册治信清	文武ノ學ニキキト云ハトモ	文武	文武		生得機力ニテ	行跡好意ノ意地ナク	所行直シトナレハ難スハキ様ナシ		
216	26巻	(祖父)太田高清 前田兵女高原利昌	文武ノ學ニキク	文武				行跡不義ナシ			
217	26巻	(父)小堀政延	文武ノ學ニキク	文武			生得悠然トシテ好曲ノ氣味ナク	行跡正順ナリ	(其ノ若年ナレトモ)所行不義ナク		
218	26巻	(祖父)小堀政一 逢山内權正藤原正徳	文武ノ學ニキクハトモ 文武ノ學ニキキト云ハトモ	文武	文武		生得悠然トシテ	行跡悪義ナク家民ヲ撫育シ			
219	26巻	(父)逢山政亮	文武	文武	文武			行跡正シク忠義ヲ旨トシ			
220	26巻	本多兵庫藤原忠次 (父)本多忠利	文武ノ道ヲ學ビテ智理弁シテ	文武	文武			行跡直シク家民憐ニ任置順路ニシテ好意ノ意地ナキトナレハ論スヘキ様ナシ	所行直シトナレハ難スハキ様ナシ		
221	27巻	本多弾正少口藤原忠清	文武ノ道ヲ學ハルル事是主稱タルノ本意也	文武	文武		生得發明ニシテ	行跡直シク家民ヲ憐ニ	所行直シトナレハ難スハキ様ナシ		
222	27巻	京極主殿源高之 (祖父)京極高棟	文武ノ道ヲ學ハルル事是主稱タルノ本意也	文武	文武		心意淳直ニシテ	行跡直シク家民憐ニ任置順路ニシテ好意ノ意地ナキトナレハ論スヘキ様ナシ	所行正シク家士民間ニ至ルマテ哀憐ヲカク		
223	27巻	柳生備前守菅原榮来	(人主タル人)文武ノ學ニキキト不足トイハトモ	文武	文武		心意淳直ニシテ	行跡直シク物事穩順ニシテ			
224	27巻	小笠原備前守藤原真芳		文武	文武		心意淳直ニシテ	行跡直シク家民ヲ憐ニ	所行不義ナク		
225	27巻	(父)小笠原在宗 毛利内膳大江元平	文武	文武	文武		生得直ニシテ忠孝ヲ旨トシ公勤不怠	行跡不義ナク			
226	27巻	高木水正源正録	文武	文武	文武		生得淳然トシテ	行跡直シク公勤ヲ旨トシ			
227	27巻	織田内匠平長根	(人主トシテ)文武ノ道ヲ不學ヲ不足トス	文武	文武		心意發明ニテ家士民間ニ愛惠アリ				
228	27巻	板倉伊代守源重同		文武	文武		心意淳直ニシテ家民ヲ憐	行跡正シ			
229	27巻	屋代越中守源中致		文武	文武			行跡直シク家民憐ニ	所行悪義ナク善シ有		
230	28巻	一柳工左守源智未明	文武	文武	文武			行跡直シク家民憐ニ	所行悪義ナク善シ有		
231	28巻	松平内膳源直知	文武	文武	文武			行跡直シク家民憐ニ	所行悪義ナク善シ有		
232	28巻	森川紀伊守源重興	文武	文武	文武			行跡直シク家民憐ニ	所行悪義ナク善シ有		
233	28巻	伊東民部藤原祐敏	文武	文武	文武			行跡直シク家民憐ニ	所行悪義ナク善シ有		
234	28巻	渡辺内匠源源政信	文武	文武	文武			行跡直シク家民憐ニ	所行悪義ナク善シ有		
235	28巻	松浦大膳源昌	文武	文武	文武			行跡直シク家民憐ニ	所行悪義ナク善シ有		
236	28巻	通井右亮源忠登	文武	文武	文武			行跡直シク家民憐ニ	所行悪義ナク善シ有		
237	28巻	米津小次郎源順政矩	文武	文武	文武			行跡直シク家民憐ニ	所行悪義ナク善シ有		
238	28巻	京極善内源高昌	文武	文武	文武			行跡直シク家民憐ニ	所行悪義ナク善シ有		
239	28巻	前田善人官原利英	文武	文武	文武			行跡直シク家民憐ニ	所行悪義ナク善シ有		
240	29巻	牧野周防守源康重	文武	文武	文武			行跡直シク家民憐ニ	所行悪義ナク善シ有		
241	29巻	内藤式部少輔藤原正友	文武	文武	文武			行跡直シク家民憐ニ	所行悪義ナク善シ有		
242	29巻	永井能登守大江直貴	文武	文武	文武			行跡直シク家民憐ニ	所行悪義ナク善シ有		
243	29巻	山口修理多々良運明	文武	文武	文武			行跡直シク家民憐ニ	所行悪義ナク善シ有		
244	29巻	青木民部藤原重安	文武	文武	文武			行跡直シク家民憐ニ	所行悪義ナク善シ有		
245	29巻	堀式部藤原直虎	文武	文武	文武			行跡直シク家民憐ニ	所行悪義ナク善シ有		

NO	番号	大人名	1	2	3	4	5	6	7	8	9
246	29巻	横田口物平秀規		文武	文						
				文武ノ道ヲ學ハサルハ不足ノ根ナリ云ヘトモ本文ニ違ハサル則ツハ難スルハナシ							
247	29巻	加藤織部藤原泰忠									
248	29巻	井上筑後守源政藏			文武ノ道ニキキ可之ト云						
249	29巻	立花主膳藤原種明		文武両道ニ練ケルナリ							
250	29巻	北條尼東平氏友									
251	30巻	安部飛騨守源正斎		文武ノ學ニキキハ不足ト云							
252	30巻	本多伊予守藤原忠恒									
253	30巻	戸田淡路守藤原氏成			文武ノ學ニキキハ物事ノ不足ナリ云						
254	30巻	新庄王殿藤原重賢		文武ノ少々學ハル							
255	30巻	松平下野守源信治		文武ノ道ヲ學ハルル							
256	30巻	堀田矢部胤俊安									
257	30巻	本多若狭守藤原利久		文武ノ學ニ國家ヲ正シ							
258	30巻	米倉長門守源昌明									
259	30巻	大久保市十郎藤原忠盛									
260	30巻	遠藤主膳平寛親									